

一 次の文章を読んで後の問に答えよ。

政治家、企業家の言葉をもっとじっくり聴きたいとおもうことが少なくなつた。心の襞に染みわたるような重厚な言葉をかれらが口にしなくなったからだろうか。それとも、**a** セイ 急な答えばかり求め、他人の言葉をじっくり聴くという耐性をわたしたちが失くしてしまつたからか。

いずれにせよ寂しいことである。そしてわたしたちにとって不幸なことでもある。政治においてだけでは無い。ふだんの会話にあつても、多くの言葉は滑るようにならずにかへ消え、その空白を埋めるためにだけあるような言葉が泡のように吐かれる。1 言葉 してこんなにも軽く、こんなにも薄いものだったのかと、うら悲しい思いに浸される。

酒席で、とあるご住職に、お**b** ク やみの述べ方を教えてもらったことがある。「何と申し上げてよいのやら」と言いながら、まずは首を横に振る、あるいはゆつくり縦に振るように、と。あつてはならないことというメッセージが被さつて、思いに奥行きが出るということなのかなとおもう。きつと、じぶんの思いのなかに亀裂が走っているという、そんな隙間をつくりだすということなのだろう。

土下座にもそういうところがあつて、土下座という演技じみたふるまいをすることで、わたしはこのことに納得しているわけではないという逆のメッセージが倍音のように相手に伝わる。そんなふうにならば土下座されると相手も怒鳴るわけにいかなくなる。そこまでして非を詫びているのに、怒鳴り返したりしようものなら、まわりから、なんだあいつは、ということになろうから、謝られた側も一矛を収めざるをえない。そうして相手との関係をこれまでとは違う水準へともつてゆく……。土下座は、にっちもさつちもゆかなくなつた関係を捨てる捨てる身の術なのだ。

礼をするときは、頭を下げるときでなく、顔を上げるときこそ丁寧にすべし。これはある老舗旅館の女将に教わつたことである。これは土下座よりいっそう洗練されている。

このように、メタメッセージを被せてメッセージを多重化することで、いつてみれば独りで語りのポリフォニーを奏でることとで、メッセージはユーモアや余情や凄みのこもつた分厚いものとなる。

(A) たとえば結婚式の祝辞では、若い人がよくやるように、聞く人の記憶に強く **c** キザ もうと **2** ひねり した話をするのでなく、定型どおりに語るほうがしじみとした味が出る。ピッチや目つきや声に余情を託すのだ。つまり行間から滲みでるもので語るのだ。

定型句で語るのとおなじような効果が歌にもある。人前での鼻歌であれ、詩歌の朗唱であれ「引用」というかたちで他人の言葉を歌うものであるから、(B) 歌う者 と聞く者とのあいだに、これは本音ではありませんよね、だから聞かなかったことにしているのですねという相互諒解があるから、逆にそれだけみずからの感情をたっふりと込められる。(C) カラオケ での絶唱はこの範疇には入らない。

「かたり」は、だれもが知るように、語りであるとともに騙りでもある。ここで重要なのは、真のかたりと偽のかたり(「誰某をかたる」)を区別することではなく、**3** 語り も騙りもともに、擬装という、自己を二重化する演技的な要素を核として、いるということだ。だから、自己へのこの隔たりが十分にとれず、言葉が剥きだしになつてしまえば、その話は「語るに落ちる」とされる。

自己のこうした隔ては、たとえば討論会や読書会などでは欠くことができない。整つた語り口のやや抑制のきいた言葉のうちに、さまざまな思いを含め込むのだ。そうしてはじめて、ひとは厚い対話を **d** ツム ぎだすことができるようになる。いいかえると、対話のなかでみずからの思考をも鍛えてゆく。よくよく考えたうえで口にされる他人の異なる思いや考えに、これまたよく耳を澄ますことで、じぶんの考えを再点検しはじめるのだ。

(D) 気心の知れた人との会話 では、整つた言葉よりも、たがいにグルーミング(毛繕い)しあうような言葉、「しんどいねえ」と相手の背を撫でるような言葉がうれしい。が、公共的なことからいって利害を異にする人びとが話しあうときには、これまで述べてきたような演技的な語りが重要になる。そのとき、**4** 言葉 が多重化するメッセージを内蔵することではじめて、対話も分厚くなる。

近ごろ、だれかれなくへらへらの薄い言葉しか口にできなくなつていような印象を抱くには、人びとがこうした語らいの作法を見失いかけていることが一つの理由としてあるのではないかとおもう。

※ 倍音 振動数の整数倍の音

ポリフォニー 多声音楽。対位法。

問一 傍線部 a ~ d の傍線部の漢字を含む熟語として適当なものをそれぞれ次の① ~ ④の中から選んで記号で答えよ。 解答番号 a ① b ② c ③ d ④

- a セイ ①性質 ②製品 ③完成 ④統制 b ク ①述懐 ②侮辱 ③慰謝 ④悔恨
c キザ ①粉砕 ②細分 ③刻限 ④挽歌 d ツム ①成績 ②紡錘 ③織機 ④繊維

問二 点線部 I 「矛を収め」、II 「語るに落ちる」の意味として最も適当なものをそれぞれ次の① ~ ⑧の中から選んで記号で答えよ。 I 矛を収める 解答番号 ⑤ II 語るに落ちる 解答番号 ⑥

- ①戦いをやめる ②つい本当のことをいってしまう ③謝る ④納得する
⑤下品なことを言う ⑥いがみ合う ⑦嘘をつく ⑧相手の要求を受け入れる

問三 () A ~ D の中に入る言葉として最も適当なものをそれぞれ次の① ~ ⑥の中から選んで記号で答えよ。ただし記号は重複して使わないこと。 解答番号 A ⑦ B ⑧ C ⑨ D ⑩

- ①たしかに ②ただし ③いいかえると ④だから ⑤よもや ⑥よしんば

問四 傍線部 I 「言葉つてこんなにも軽く、こんなにも薄いものだったのかと、うら悲しい思いに浸される」とあるが、この思いの理由として最も適当なものを次の① ~ ④の中から選んで記号で答えよ。 解答番号 ⑪

- ①マスメディアの使う定型どおりの言語表現が話し手にも聞き手にも定着してしまったから
②他人の言葉を聴く暇がない多忙さが我々から言葉を聞く耐性まで尖わせたから
③心の壁に染みわたる重厚な言葉を口にするほどの教養が多くの人からなくなったから
④言葉に重層性を持たせる仕草や含蓄のある言葉を使いこなす話術が少なくなってきたから

問五 傍線部 2 「一ひねりした話をするのでなく、定型どおりに語るほうがしみじみとした味が出る」の理由として最も適当なものを次の① ~ ④の中から選んで記号で答えよ。 解答番号 ⑫

- ①一ひねりして記憶に残るスピーチをするより、思いやりの伝わるスピーチのほうが結婚式の祝辞では大事なことから
②目つきや声や話のピッチなどを型にはめることによって演劇的な効果が期待でき、聞く人の空想力をかき立てるのに適しているから
③型どおりの祝辞の方が目つきや声や話のピッチなどの話術の工夫がしやすく、話し手の感情を込めるのに適しているから

④一ひねりした話は聞く人の記憶に残りやすいだけで、深い感動をあたえる十分な感情が不足しているから

問六 傍線部 3 「語りも騙りもともに、擬装という、自己を二重化する演技的な要素を核としている」の説明として最も適当なものを次の① ~ ④の中から選んで記号で答えよ。 解答番号 ⑬

- ①語りも騙りも、ともに他者をだます点では共通するが、語りは究極には芸術になるということ
②語りも騙りも、内面に別の性格を作り出し、その性格が自己の本心を統御しているということ
③語りも騙りも、内面を隠して演技的に振る舞い、本音とは逆の行動をせざるを得ないということ
④語りも騙りも、自己の内面にもう一人の自己が存在し、自己を客観的にとらえるということ

問七 傍線部4「言葉が多重化するメッセージを内蔵する」の説明として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 14

- ①言葉が深い思いや重層的な意味を含み持つようになる
- ②激しい感情のこもったメッセージが穏やかに伝わる
- ③言葉の深さや味わい深さなどが内面にこもってしまう
- ④人の心を離れても言葉は始めから深い意味がある

二 次 の 文 章 を 読 ん で 後 の 問 に 答 え よ。

私の好きな文学者をあげれば、まず芥川、漱石、そして芭蕉ということになる。

芥川は命がけて芸術に取り組んだ人である。彼は自分を火竜と戦っている西洋の騎士にたとえ、騎士はキリストの加護があるために火竜も傷つけることはできないが、自分は何の加護もなしにやっているのだといっている。また、いよいよ創作で身を立てようと決めたとき、友人と町を散歩していると、町のはずれで電線が切れてその端が雨水のたまりにふれ、紫の火花が散っているのを見た。そのとき自分は他の何物を捨ててもこの紫の火花はとっておきたいと思ったと書いている。芥川はまことに「筋に理想を追い求めた人といえる。「東洋の秋」「尾生の信」などを読めば、なるほどとうなずかれるに違いない。

また、芥川は非常によく詩がわかる。佐藤春夫は芥川は詩がわからないといっているが、むしろ佐藤春夫は詩人ではなく、うたびとだという気がする。「寒山拾得はまだいる。東洋の秋はまだ滅びない」ということばにも、詩人芥川が感じられないだろうか。

一筋に理想を追うやり方は西洋流で、つまりインスピレーション型だといえる。それで芥川の子どものよくできたものは単体結晶だという気がする。こんな作品が十ばかり数えられる。

これに反してその師匠の漱石は東洋流の、つまり情操型の典型的なものである。小宮豊隆の「夏目漱石」を参考にすればよくわかるが、漱石の作品は統一列に並んでいる。だから正しくいえば「吾輩は猫である」に始まって「明暗」の途中に終る一筋の創作が全体として一つの創作である。漱石は一作をすませることによってそれだけ境地が深まり、その深まった境地によってさらに書くといったことを終りまで続けた人である。人の生命が一筋にしか流れないものである以上、境地を深めていけば縦一列になるほかないわけで、私にはこれがわれわれ東洋人にはやりやすい方法だと思う。

私自身についても、はじめ西洋流の教育を受けたからインスピレーション型の発見が多かったが、標題を「多変数函数論」と一つに決めて、その一、その二……と論文を書き出したやり方は縦一列である。もし西洋流の教育を受けなかったら、初めからこうしたに違いない。

漱石の文学の深さをあらわすものとして、亡くなる年の夏、芥川に送った手紙の次のような一節がある。

「自分はこの夏は、午前中創作を書き、午後は藤椅子を持ち出して庭の緑蔭を楽しむのであるが、午前中の創作活動が、午後の休息の肉体に愉悅を与えるのを例としている。自分は文学は「こまで来なければうそだと思う」全く同感で、この一節は人類の文化にとって非常に貴重なa文ケンだという気がする。

漱石といえども、朝日新聞に入社した当初だったと思うが、次のようにb綱シ吼したことを思い出す。

1「自分の小説は少なくとも諸君の家庭に悪趣味を持ちこむことだけはしない」

これを初めて読んだときは、平凡なことをいう人だと思っていたが、それがどんなに大切なことかだんだんわかってきた。2「いまにして思えば全く堂々と豪語したものであるが、確かにそれだけのことはある。いまの文学者のだれがこれだけのことをいい切れるだろうか。」

近ごろの小説が、またテレビや映画が、家庭に悪趣味を持ちこんだことによつて、美しかった日本民族のc情手ヨの中心がどれだけひどく荒されたことだろうか。人の表玄関がけがされているという事実をまざまざと眼前につきつけられている今となつても、なお「3表現の自由」などというものがあろうのだろうか。すさんだ世の姿をみるにつけて、漱石の豪語が思い出されてならないのである。

また、漱石のおもしろさはタイムリングが実によいことにある。いかえれば人生というものの四次元的な特徴がよく出

ているということである。たとえば「行人」で兄と弟が風呂に行くつもりで旅館の階段を降りかかる。無言でびようぶを見つめていたと思うと、突然兄は「おい二郎」と声をかけ「きつきの話だがね……」と汽車の中で自分から打ち切ったばかりの話を始めて階段の途中でびたりと立ち止まる。こういうタイミングである。これで自分がその主人公とともに生きているような気がする。これは芥川にはない特徴であろう。

しかし、いまは漱石の小説を読む人はだんだん少なくなってきたらしい。いまの小説はもっと刺激の強いものをたくさん入れている。これは微妙なニュアンスなどというものがわからなくなってきたためだろう。

芭蕉を最初に紹介してくれたのは芥川の『芭蕉雜記』『続芭蕉雜記』で、読んだのはdヨウ行前のことだったが、くわしく調べたのは帰国の後である。芭蕉の門人たちは実に真剣に俳句や連句に打ちこんでいるらしいが、俳句というものはわずか十七文字で、ある日はよくよめたと思っても、翌日になれば気のせいだったと思うかもしれない。また名人でも本当によいのは生涯に十句ぐらいだと芭蕉自身もいつている。よくこんな頼りないものに一生を託せるものだ。一体どんなふうになっていたのだろうか、とそのふん囲気を知りたかったのが詳しく調べるe動キになった。そして、芭蕉一門が追い求めたその行手に、美の本体がありありと見えていたことを知り得たのであった。

岡潔「春宵十話 好きな芸術家」による

問一 傍線部a～eのカタカナの部分の漢字を含む熟語として最も適当なものをそれぞれ次から選んで記号で答えよ。

- a 文ケン ①実験 ②圏外 ③献上 ④権力
c 情子ヨ ①頭著 ②端緒 ③貯金 ④猪突
c 動キ ①飢餓 ②奇怪 ③季節 ④機械

解答番号 a 15 b 16 c 17 d 18 e 19

問二 筆者がとらえている芥川龍之介の文学の特徴として最も適当なものを次から選んで記号で答えよ。

解答番号 20

- ①松尾芭蕉の影響が強く出ていて、西洋的な作品の根底に俳諧の精神が流れている
②詩的な言葉を一つ一つ積み重ねて読者にインスピレーションが閃くようにできている
③理想を求めて一途に努力を重ねて作品を重ねることに心境が深く変化してきている
④インスピレーションがひらめいて一つ一つ作品が珠玉のようにきらめいている

問三 筆者がとらえている夏目漱石の文学の特徴として最も適当なものを次から選んで記号で答えよ。

解答番号 21

- ①イギリス留学をしていたので西洋流の教育を受け、インスピレーション型の作品が多い
②初めから作を追うごとに次第に精神的な高さや深さを追求するように変化している
③平凡なことを平凡な表現で記してあるので、一見わかりやすいが、奥が深いものがある
④西洋的なインスピレーションがひらめいていて人生の四次元的な特徴を見事に表現している

問四 傍線部1「自分の小説は少なくとも諸君の家庭に悪趣味を持ちこむことだけはしない」を傍線部2「いまにして思

えば全く堂々と豪語したものである」と筆者はいつているが、豪語だという理由の説明として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 22

- ①通俗的で下品な作品や刺激の強い作品は多く書かれるが、漱石のように微妙なニュアンスで質の高い内容・表現を備えた作品を書くのは至難の業だから
②小説の質が高いか否かよりは、売れるか否かが肝要であり、通俗小説は受け入れられやすく、社会にもそれを歓迎する風潮にあるから

③芸術的価値の高い作品より商業主義的エンターテインメントを求める今日のわれわれを予言した夏目漱石の言葉が厳粛であるから

④いまの文学者は自分の仕事や作品についてのプライドや責任感がなく、作品の書きっぱなしで社会への悪影響などを考慮していないから

問五 筆者の傍線部3「表現の自由」についての考えとして最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 23

- ① 他人を中傷している作品まで「表現の自由」の権利で守っている現状はおかしい
- ② 「表現の自由」は憲法で保障されている権利なので絶対に守られなければならない
- ③ 公序良俗を乱す作品にまで「表現の自由」の権利を付与するのはあまりよくない
- ④ 「表現の自由」はテレビや映画等の映像に関しては制限してしかるべきである

問六 芥川龍之介と夏目漱石の作品でないものを次の①～⑨の中から一つ選んで記号で答えよ。 解答番号 24

- ① 恩讐の彼方に
- ② 杜子春
- ③ トロツコ
- ④ 偷盗
- ⑤ 三四郎
- ⑥ 二百十日
- ⑦ 草枕
- ⑧ それから
- ⑨ 門

三 次のA～Hの四字熟語の意味として最も適当なものを次の①～⑨からそれぞれ選んで記号で答えよ。

- | | | |
|--------|---------|---------------------------------|
| A 当之无愧 | 解答番号 25 | ① 優れた才知や徳などを隠して世俗の人々と交際すること |
| B 唯々諾々 | 解答番号 26 | ② 無理に理屈をつけること |
| C 和光同塵 | 解答番号 27 | ③ 善悪にかかわらずただひとのいいなりになること |
| D 青天白日 | 解答番号 28 | ④ どれも同じようでもおもしろみがないこと |
| E 千篇一律 | 解答番号 29 | ⑤ その場になまぬまにあてはまるようにすばやく機転をきかすこと |
| F 剛毅木訥 | 解答番号 30 | ⑥ うろたえあわてふためくこと |
| G 豪放磊落 | 解答番号 31 | ⑦ 度量が大きく細かいことにこだわらないこと |
| H 周章狼狽 | 解答番号 32 | ⑧ 意志が強く飾り気がない様子 |
| | | ⑨ 心にやましいことがないこと |

四 次のA～Iの意味を持つことわざ・慣用句として最も適当なものを次の①～⑨からそれぞれ選んで記号で答えよ。

- | | |
|--------------------------|---------|
| A 弱者や敗者に同情し味方したい第三者の気持ち | 解答番号 33 |
| B 信じていた人から裏切られひどい仕打ちを受ける | 解答番号 34 |
| C 好都合なことがタイミングよく起こること | 解答番号 35 |
| D 何かするついでに他のことをすること | 解答番号 36 |
| E 自業自得 | 解答番号 37 |
| F 優劣つけがたい美人のたとえ | 解答番号 38 |
| G 他人の利益のために危険を冒すこと | 解答番号 39 |
| H ふたたび以前つまらぬ状態に戻るさま | 解答番号 40 |
| I いったん切れていた男女の関係がよみがえること | 解答番号 41 |

五 次の各短文の()に入る言葉として最も適当なものを次の①～④からそれぞれ選んで記号で答えよ。

- | | |
|--|------------------|
| A 新任の教師に校長が、「体罰は困りますが、ふまじめな子どもは()ください」 | 解答番号 42 |
| ① 容赦なくお叱りしてやって | ② 容赦なくお叱りなさってあげて |
| ③ 遠慮なく叱ってやって | ④ 遠慮なく叱ってあげて |
| B チケットの予約をした客に電話で「()チケットが、お客様のご希望どおりに取れました」 | 解答番号 43 |
| ① ご予約された | ② ご予約いただいた |
| ③ ご予約になりました | ④ ご予約していただいた |

C 通信販売で購入したセーターを返品したいという客の電話を受けて、「ご返品いただいた商品が（ ）して
ていなければ、到着後、一週間以内にご返金いたします」

解答番号 44

① 汚れたり ② お汚しになったり ③ 汚されたり ④ お汚しされたり

D 講演会で、講師を紹介するときに、「安倍先生は、長年にわたり動物の寄生虫の研究を（ ）しました」

解答番号 45

① いたしていらつしやい ② されてまいり ③ なさってまいり ④ してこられ

E レストランでウェイトレスが客にメニューの説明をして、「ご年配の方は、Bコースのセットが（ ）」

解答番号 46

① よろしいかもしれません ② よろしいはずだと思います

③ よろしいかと思われます ④ よろしいかと存じます

六

次のA～Gの各雑誌名として最も適当なものを後の次の①～⑦からそれぞれ選んで記号で答えよ。

A 尾崎紅葉らが中心になって結成した硯友社の機関誌

解答番号 47

B 北村透谷を中心として創刊された雑誌

解答番号 48

C 正岡子規が創刊し、夏目漱石の『吾輩は猫である』が発表された雑誌

解答番号 49

D 武者小路実篤、志賀直哉、有島武郎らによって創刊された文芸・美術雑誌

解答番号 50

E 芥川龍之介、菊池寛らが中心となって発行した雑誌

解答番号 51

F 留学から帰国した永井荷風を中心にして慶應義塾大学で発行された雑誌

解答番号 52

G 警察機関の拷問により死去した小林多喜二の『蟹工船』が発表された機関誌

解答番号 53

- ① ホトトギス ② 戦旗 ③ 我楽多文庫 ④ 三田文学 ⑤ 新思潮 ⑥ 白樺 ⑦ 文学界